

ご利用にあたって

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により、奨学生の募集に影響がでている団体があります。各団体の公式 HP など最新情報の確認をお願いいたします。

1. 海外留学の資金準備

留学前に資金の準備をすることは、現実的な留学計画を立てるうえで欠かせません。多くの国・地域では、滞在許可やビザの発給に際し、留学費用を賄える経済力を証明することが求められます。また、滞在許可やビザの種類にもよりますが、現地でのアルバイトを制限あるいは禁止している国・地域は多いです。留学先での奨学金も、現地の学生優先の場合が多く、留学生に与えられる機会はあまり多いとはいえません。

このような状況を考慮すると、資金は留学する前に日本国内で確保する必要があります。現地での収入を資金計画に安易に組み込むことは避け、3 ページ「3. 奨学金の選択・応募に関する主なチェックポイント」などを参考に、奨学金の利用を検討してみましょう。

2. 海外留学のための各種奨学金制度

(1) 「海外留学奨学金パンフレット」掲載情報

- 主に海外の教育機関（語学学校、専門学校、短期大学、大学、大学院など）に在籍し、教育あるいは指導を受ける形態での留学に支給される奨学金を掲載しています。高校生を対象とした奨学金も一部掲載しています。
- 掲載情報は2022年6月時点のものです。募集時期や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響により、過去の情報を掲載している場合があります。また、あくまでも概要であり、奨学金によってはさらに応募条件がある場合もあります。詳細な情報については、必ず各団体の最新の募集要項や公式 HP などを確認し、不明な点は直接問い合わせてください。

※本パンフレットに掲載されている奨学金は、原則として日本国籍保有者・永住者等を対象としています。

（応募者の国籍に関する特筆事項があれば、備考欄に掲載しています。）

※次のような形の資金援助については原則掲載しておりませんので、実施団体に直接問い合わせてください。

- 特定の一教育機関が在籍生、入学予定者や交換留学制度参加者のみを対象に実施している奨学金
 - 学業を目的としないホームステイ・インターンシップなどの渡航に対する助成
 - 海外での学会参加、調査・研修旅行に対する助成
 - 海外での研究業務に対する助成
 - 留学プログラム経費の一部を減免する形での奨学金
 - TA・RA など、教育・研究補助の対価として支払われる奨学金
- （参考）公益財団法人助成財団センターのウェブサイト
<https://www.jfc.or.jp>

「海外留学奨学金検索サイト」

<https://ryugaku-shogakukin.jasso.go.jp/>

本パンフレットに掲載している情報を検索することが可能です。

(2) 海外留学のための奨学金を支給する団体

本パンフレットでは、奨学金情報を団体の種類別に掲載しています。巻末には、留学対象国・地域別の索引もあります。

【日本学生支援機構奨学金】 日本学生支援機構が実施する、給付型および貸与型（無利子・有利子）の奨学金です。

【地方自治体奨学金】 国内地方自治体や国際交流協会などが、住民やその自治体に関係のある人を対象に実施しています。ほとんどが給付型ですが、一部、貸与型もあります。また、高校生の留学のための奨学金は多くの都道府県により実施されています。



【外国政府等奨学金】 外国政府や公的関係機関がその国・地域の大学などに留学する日本人に対して実施しています。すべてが給付型です。

【民間団体奨学金】 民間企業・団体が実施しています。ほとんどが給付型ですが、一部、貸与型もあります。

(3) 海外で募集される奨学金

海外で募集される奨学金の情報は、駐日大使館などの公的な留学情報提供機関や現地の教育省などのウェブサイトを参考に調べてみましょう。当機構の海外留学支援サイトの「海外留学情報」国・地域別のリンク集 https://ryugaku.jasso.go.jp/oversea_info/region/ を参照してください。留学希望先の学校にも問い合わせてみましょう。

3. 奨学金の選択・応募に関する主なチェックポイント

【奨学金の選択】

- 返還義務の有無：給付型（返還が不要）と、貸与型（後日返還が必要。利子がつくものもある）があります。
- 学校の選択・入学手続き：本人が行うものと、奨学金団体が行うものがあります。
- 応募資格：対象となる学校の種類や課程、専攻分野、成績、語学力など、さまざまな条件があります。とくに海外で募集される奨学金については、募集対象が学生一般（現地学生も含む）か、外国人留学生のみか、特定の国や地域出身者のみかも確認しましょう。
- 応募時期：奨学金への応募と留学希望先校への出願を同時進行できるもの、奨学金応募時に入学許可や入学の内諾を得ている必要があるもの、入学後に初めて応募できるもの、入学後一定期間経過後に優秀な成績を収めた学生に支給されるものなどがあります。
- 学力・所得の基準：成績優秀者に与えられるものと、経済状況に応じて与えられるものがあります。
- 重複受給の可否：他の奨学金と併せて受給することが可能なものがあります。

【奨学金への応募】

- 早めに奨学金の情報収集・留学準備を始め、適切な時期に奨学金団体や志望校に応募しましょう。留学開始時期の1年以上前に応募を締め切るものもあります。とくに海外から日本の奨学金団体に応募する場合は、書類の取り寄せや郵送などにかかる時間を十分に考慮して準備する必要があります。
- 一般的に、語学留学より大学留学、大学留学より大学院留学というように、在学段階が高くなるほど応募できる奨学金の種類は増えますが、いずれの場合も応募者は多く、狭き門といえます。日頃から学業に励み良い成績を収め、また、留学先国・地域の言語を学習し、語学試験・資格試験を受験してスコアを準備してください。
- 奨学金提供の目的をよく把握し、不備なくわかりやすい書類を作成しましょう。研究計画書は明快な記述を心がけ、留学後の計画も検討しておくことが求められます。提出前に書類を第三者に読んでもらい、客観的な記述を心がけることも大切です。

4. 奨学金以外の資金（教育ローン）

奨学金以外に、日本政策金融公庫をはじめとする金融機関の教育ローンを利用する方法もあります。詳しくは下記または各金融機関にお問い合わせください。

日本政策金融公庫 国民生活事業（国の教育ローン）

教育ローンコールセンター 0570-008656（ナビダイヤル）03-5321-8656

（受付時間：月～金曜日 9:00～19:00）

※土日祝日、年末年始（12月31日～1月3日）以外

国の教育ローンウェブサイト <https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

その他の金融機関の各種教育ローン

留学に利用できるものがあります。詳しくは各金融機関にお問い合わせください。



本書の使い方

手続

●受入校の手続き

本：本人が行う
 団：奨学金支給団体が行う



●留学希望先の受入許可書

★：奨学金応募時に必要

選択

●受入校の選択

本：本人が選択する
 団：奨学金支給団体が選択する
 指：奨学金支給団体の指定校から本人が選択する

応募資格		留学先について			専攻
年齢制限	留学先校	選択	手続	★	
29歳以下		本	本	★	

II 地方自治体奨学金						
【東北】						
奨学金名	問い合わせ先	最終学歴	年齢制限	留学先について	専攻分野	必要言語能力
地1 仙台市 海外留学支援奨学金	(公財) 仙台市産業振興事業団 総務課 人材確保支援課 〒980-6107 宮城県仙台市青葉区中央1-2-1 AER7 階 TEL 022-724-1116 FAX 022-715-8265 E-mail: koyoshien@stp.city.sendai.jp http://www.astp.city.sendai.jp		29歳以下	留学先校 選択 手続 ★		
【関東】						
地2 ①那須塩原市給付型奨学金(海外留学) (2021年度実績)	那須塩原市教育委員会事務局 教育総務課 総務課 〒329-2792 栃木県那須塩原市あたご町2番3号 TEL 0287-37-5231 FAX 0287-37-5479 E-mail: ekoyu@city.masuhibara.	高等学校卒業または卒業見込みもしくは大学または短期大学に在学している者(2022年3月末日までに合格した後、当該合格校に入学する者または入学した者)	高等学校卒業後5年以上	学位取得を目的とし、海外のその国における教育制度による大学もしくは短期大学またはそれらに準ずる学校	本 本	基準なし

出身・在居住地指定

●出身・在居住地に関する指定

- (a)：日本在住者のみ出願できる
- (b)：出願時の在居住地は問わないが、受験時には日本にいる必要がある
- (c)：出願時および受験時の在居住地は問わない

出身・在居住地指定	重複受給	備考
(a) 可		

重複受給

●他の奨学金との重複受給の可否

可：重複受給ができる
 不可：重複受給はできない

アイコン

奨学金の種類：**給付** 返還が不要。 **貸与** 後日返還が必要。利子がつくものもある。

留学の種類：**進学** 学位取得を目的とし、海外の学校に進学することを目的とした留学が対象。

在学 協定留学・派遣留学・交換留学など、日本の大学等に在籍中の留学が対象。

語学 単位や学位の取得はせず、語学力を身につけるための留学が対象。

留学先校：**限定なし** **高校以下** **語学学校** **専門学校** **短期大学** **大学学部** **大学院(修士)** **大学院(博士)** **博士以降**

※当てはまるものは全て記載してありますが、その他の形式も可としている場合がありますので、内容をよくご確認ください。

出身・在居住地指定	重複受給	備考	支給内容		募集内容		奨学金の種類	
			支給金額	支給期間・支給時期	募集期間	選考日程		募集人数
(a) 可			①おおよそ1年間の海外留学する場合最大116万円 ②おおよそ半年間の海外留学する場合最大58万円	海外へ派遣に一切で全額貸与します	◎ 4月～5月	6月中旬	予算の範囲内	書類・面接
可		申込資格：出身校または在学している学校における評定平均値が5段階評価で4.5以上の者 修学に必要な経済的支援が必要となる者 本人または保護者が市内に住所を有する者 本人が市税を滞納していないこと	20万円 返還不要	1回限り	2021年11月4日～2021年12月22日	2022年1月25日	0名/若干名	
可		修学に当たり経済的支援が必要となる者	月額3万円または5	申込時の修学年	2021年8月25日～	2022年	0名/若干名	

給付期間	募集期
学前に一額貸与し	4月～5月

II 地方自治体奨学金

●語学研修中の支給の可否

◎：大学・大学院等に進学する際十分な語学力がない場合に、語学研修を受けることが可能であり、その期間中も奨学金が支給される。

I 日本学生支援機構奨学金	06
II 地方自治体奨学金	12
III 外国政府等奨学金	28
IV 民間団体奨学金	62